

認知症月間について

1 月間の趣旨

昭島市では、昭島市認知症支援連絡協議会の協力のもと、認知症の方やその家族が安心して暮らし続けることができるまちを目指し、11月を中心に認知症月間として様々なイベントなどを開催

2 令和5年度実施のイベント実績

(1) 認知症見守り体験

- ・地域で困っている認知症の方を見守り、支援していただくため、認知症の症状や声をかける際のポイントを学んでいただいた後、認知症高齢者役のスタッフに声をかける体験をしてもらう。
- ・開催日：令和5年11月4日（土）
- ・実施会場：松原町高齢者福祉センター
- ・参加者数：33名

(2) 認知症に関する映画上映会

- ・令和5年6月に公開した、若年性認知症の丹野智文さんをモデルにした「オレンジ・ランプ」を、市内2か所の会場にて上映した。
- ・開催日：令和5年11月5日（日）
- ・実施会場：①ハピネス昭和の森
②昭島市役所
- ・参加者数：①91名 ②90名 計181名

(3) くじらの学校（認知症のことを学んで体験できるイベント）

- ・認知症のことを学んで体験できる学園祭方式のイベント。認知症に関する講義や認知症予防のための運動プログラム等を実施するほか、認知症の方の活躍の場の創出の観点から、認知症の方の作品の展示も行う。
- ・開催日：令和5年11月23日（木・祝）
- ・実施会場：昭島市公民館
- ・参加者数：201名
- ・実施内容：認知症や栄養、服薬等に関する各種講演会、拝島高校演劇部による認知症に関する演劇、介護予防体操・ヨガ、認知症の方の作品展示（絵画、絵手紙、ペーパークラフト等）、福祉用具の展示（GPS 機器、電動車いす、介護ベッド等）

(4) 認知症に関するパネル展示（市役所、市内商業施設等）

- ・市内に5か所ある認知症グループホームにて生活する方々及び市内に3か所ある認知症対応型通所介護を利用する方々の写真をポスターにし、認知症月間中に様々な場所で展示するもの。認知症になってもその人らしく、他の人と変わらない生活が送れるということや、認知症の方を支援する介護サービスとして様々なものを展開しているということを周知する目的で実施している。

- ・開催スケジュール：11月1日～11月7日 アキシマエンシス
11月8日～11月14日 モリタウン
11月17日～11月23日 ザ・ビッグ
11月1日～11月末まで 市民ロビー・あいぽっく

(5) 認知症市民ひろば（コンサート、懇談会）

- ・介護者のみなさんによるミニコンサートと各演奏終了後介護体験や今の生活のお話
（オカリナ、ケーナ、ギターと歌、アコーディオン、フルート、ウクレレ、ハーモニカなどの楽器の演奏、朗読）
- ・開催日：令和5年11月25日(土)
- ・実施会場：あいぽっく3階
- ・参加者数：56名

(6) 認知症の知恵ぶっくろ（認知症関連の書籍を紹介するリーフレットの配付）

- ・認知症について多くの市民に見てもらい興味を持ってもらうことを目的に、地域包括支援センター職員と認知症初期相談窓口職員が薦める認知症に関する図書をまとめたリーフレットを配布し、併せて図書の貸出も行った。
- ・配布期間：10月15日～11月末まで
- ・配布場所：介護福祉課窓口、アキシマエンシス図書館特設ブース、各地域包括支援センター、市立会館、市内図書館（分館含む）、(4)のポスター展を行った各場所（展示期間中のみ）
- ・配布数：1,000部
- ・貸出実績：配布期間外（9月1日～10月14日）→9冊
配布期間中（10月15日～11月30日）→24冊

3 総括

認知症月間の各イベントについては非常に有意義な内容のものを実施でき、参加者の反応も、「感動して涙が出た、ためになる映画でした」「演劇や講演会など大変素晴らしい取組でした、来年度以降もこのような機会をたくさんつくってほしい」など非常に良かった。今年度から新たに全戸配布のタブロイド版にて認知症月間のイベントを周知した。配布期間後からイベントの予約が急激に増え、関係機関からの反応も良く一定の効果があった。また、更なる周知を図るため、各関係機関や団体の会合等に出向き、各イベントの趣旨や内容、魅力について説明するなど丁寧に周知を行った。